

INFORMATION 【期間：平成29年】

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2017-12-05 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/2297/00049387

INFORMATION

【期間：平成29年】

ゲノム機能解析分野サイエンスセミナー

「MTOR分子からみた発達障害」

伊藤 雅之 先生 (Masayuki Itoh, M.D., Ph.D.) 国立精神・神経医療研究センター, 神経研究所 疾病第二部

日時：平成29年6月13日(火) 17:30～18:30

場所：金沢大学医学図書館 2階 十全記念スタジオ

連絡先：学際科学実験センター 目黒牧子 TEL:076-265-2775 E-mail: mhorike@staff.kanazawa-u.ac.jp

第9回MRTプログラム・リトリート

MRTプログラムとはMedical Research Trainingの頭文字をとったプログラムのことで、明日の医療を開拓する人材(研究医)を育成することをミッションとしている。このプログラムは、医学類の正式科目と並行して、希望する学生が授業の空き時間や夕方以降、休暇期間を利用して、各研究室で行われている研究・セミナー・論文講演会等に参加するものである。今回は第9回目のリトリートで今年度としては1回目となる。MRTプログラム参加学生・関連学生、教員スタッフ、興味のある方々に広く開放して日頃の成果や今後の抱負を語りあう会となる。

日時：2017年6月21日(水) 午後6時30分開始 場所：金沢大学医学図書館2階 十全記念スタジオ

主催：MRTプログラム実行委員会、MRT担当教員

金沢大学医薬保健研究域医学系脳神経医学(河崎) TEL: 076-265-2363 E-mail: hiroschi-kawasaki@umin.ac.jp

神経分子標的学セミナー

演題：傷害誘導性多能性幹細胞による脳梗塞治療

演者：松山知弘 先生 (兵庫医科大学先端医学研究所長 神経再生研究部門長 教授)

日時：平成28年6月28日(水) 18:00～19:30

場所：金沢大学医学類 第2講義室

問い合わせ先：金沢大学医薬保健研究域医学系 神経解剖学(解剖学第三) 堀 修

Tel: 076-265-2162 E-mail: osamuh3@staff.kanazawa-u.ac.jp

松山先生は、これまでにマウス脳梗塞後の脳血管ペリサイトがリプログラミングを受けて多能性幹細胞になること、更にそれらが神経細胞、アストロサイト、ミクログリアなど脳内のほとんどの細胞に分化することを報告されました。今回のセミナーでは、傷害脳で特異的に誘導されるこの多能性幹細胞が実際に脳梗塞後の新たな治療標的になり得ることを発表して頂きました。

第16回生命科学研究会

テーマ：生命科学に関する最新の知見・研究成果を共有する

開催日：平成29年6月30日(13:20)～7月1日(11:30) 場所：KKRホテル金沢

内容：リン代謝疾患に起因するPhosphatopathy発現機序の解析 黒須 洋 自治医科大学

概日リズムを制御する細胞時計の光同調の解明 平山 順 東京医科歯科大学

乳癌幹細胞におけるeIF5A2を介した翻訳制御機構 諫田康成 国立医薬品食品衛生研究所

発光β細胞株iGL細胞を用いた同調性インスリン分泌の可視化 鈴木崇弘 愛知学院大学

一次繊毛を介した骨芽細胞分化における細胞膜裏打ちタンパク質4.1Gの役割 斎藤将樹 東北大学

研究会連絡先：金沢大学医薬保健研究域医学系細菌学 TEL:076-265-2200 FAX:0762-234-4230 E-mail:skk16@med.kanazawa-u.ac.jp

演題：21題

機能解剖学セミナー

日 時：平成29年7月3日（月） 17：00～18：00

場 所：金沢大学医学類F棟1階 修士課程セミナー室

演 題：「中枢神経アストロサイトの形態、機能の多様性」 和中 明生 先生 奈良県立医科大学 解剖学第二講座教授

連絡先：金沢大学医薬保健研究域医学系機能解剖学分野 尾崎紀之 TEL：076-265-2156 FAX：076-234-4221

和中明生先生は、Olig2という転写因子を軸にグリア前駆細胞及び成熟グリア細胞の形態機能連関に注目し研究を進めておられる。本セミナーでは成熟神経系におけるアストロサイトの多様性について最新のデータを示され、「アストロサイト＝GFAP陽性細胞」という我々の固定観念を打破された。次いで、アストロサイトが静的な存在ではなく、神経機能の変化に応じてその形態を動的に変化させる存在であることや、アストロサイトの機能を人為的に変化させる試みについても示され、脳内グリア細胞の生理的機能及び病態への関わりについて最先端のご研究を紹介いただいた。

遺伝子改変動物分野サイエンスセミナー

平成29年7月13日（木）17時より、アイソトープ総合研究施設1階会議室にて、遺伝子改変動物分野サイエンスセミナーを開催いたします。講演をしてくださるのは、放射線医学総合研究所、技術安全部、生物研究推進課の塚本智史先生で、ご講演のタイトルは「マウス初期胚発生におけるオートファジーの役割」です。塚本先生は、ノーベル生理学・医学賞の有力候補となった東京大学の水島昇先生とともにオートファジーの研究を精力的に行っておられ、今回は胚におけるオートファジー研究の最前線についてお話ししていただきます。

連絡先：学際科学実験センター 遺伝子改変動物分野（実験動物研究施設）

TEL：076-265-2460 E-mail：tdaikoku@kiea.m.kanazawa-u.ac.jp

北陸実験動物研究会第21回総会・第55回研究会

平成29年7月15日 金沢大学宝町団地 アイソトープ総合研究施設

北陸3県の実験動物研究者、技術者、実験動物取り扱い企業の情報交換の場として、7月15日土曜日の14時30分よりアイソトープ総合研究施設の会議室で表記研究会を開催する。今回の研究会ではお二人の先生にご講演いただくことになった。

特別講演1 14：45～15：45

「感覚器系－嗅覚系および網膜－における社会性ペプチド・バゾプレシンの働き」

横浜市立大学・視覚再生医療研究 助教

子どものこころの発達研究センター 協力研究員 辻 隆宏 先生

特別講演2 16：00～17：00

「雌性動物を用いた実験について -雌ラットにおけるホルモンの影響-」

福井大学 ライフサイエンス支援センター 生物資源部門 准教授 村田 拓也 先生

Immunology Seminar

山野友義 先生（ミュンヘン大学免疫学部門 博士研究員） 「Aireを発現する自然リンパ球様細胞の解析」

日時：7月26日（水） 9：30～10：30

場所：医学類D棟3階 e-learning room

連絡先：免疫学 TEL 265-2727 E-mail hanayama@med.kanazawa-u.ac.jp

第53回中部日本小児科学会

日時：平成29年8月20日（日） 場所：金沢市文化ホール 大会長：谷内江昭宏

学術集会事務局：金沢大学大学院医薬保健学総合研究科小児科（担当：清水正樹） TEL：076-265-2313

学術集会ホームページ：URL：<http://ped.w3.kanazawa-u.ac.jp/centraljapan/index.html>

本学術集会は、小児科学に関する臨床解析および研究を促進し、学術の進歩とその普及を図り、小児の健康の増進に寄与することを目的とし、年に1回、中部地区の日本小児科学会会員が集まり、成果を発表、議論しています。

特別講演：「自己抗体から観る膠原病」 演者：竹原和彦先生（金沢大学皮膚科教授）

統合神経生理学セミナー

日時：2017年9月20日（水）15:00～16:30 場所：医学図書館2階 十全記念スタジオ
 演者：田淵克彦 先生（信州大学学術研究院・医学系分子細胞生理学教室）
 演題：X染色体不活性化メカニズムを利用したCASK欠損知的障害モデルマウスの解析
 内容：田淵先生は、シナプス機能の異常と発達障害との関連について、精力的に研究を進めてこられた、本セミナーでは、シナプス足場タンパク質CASKの異常と知的障害との関連についてノックアウトマウスを用いた解析を紹介していただく。
 連絡先：金沢大学医学系統合神経生理学 三枝理博 (TEL:076-265-2173, E-mail: mieda@med.kanazawa-u.ac.jp)

脳神経医学セミナー

タイトル：脳神経医学セミナー「キンカチョウの歌の空白に刻まれた種を特定する情報を聴く神経メカニズム」
 講演者：杉山陽子
 キンカチョウは発達期に成鳥の歌を聴き、模倣することで歌を学習します。この時ヒナは、個体ごとに歌が異なるにも拘らず自身の種の歌を聴き分けて学習します。杉山先生は、キンカチョウは歌の空白のテンポに種の特異性という情報を組み込み、これを特異的に識別する神経回路が存在することで生得的に自身の種の歌を学習することを見いだされました。このたび金沢にいらっしやる機会がありセミナーをして頂きます。
 日時：2017年9月20日 場所：金沢大学医学類F棟1階修士課程セミナー室
 連絡先：金沢大学 医学系 脳神経医学研究分野 河崎洋志 TEL 076-265-2365, e-mail kawasaki-sec@med.kanazawa-u.ac.jp

第5回日本難病医療ネットワーク学会学術集会

開催日：2017年9月29日（金）～9月30日（土） 会場：石川県地場産業振興センター 大会長：山田正仁 副会長：駒井清暢
 学術集会事務局：独立行政法人国立病院機構医王病院 TEL: 076-258-1180 E-mail: jsmnid5@ioudom.hosp.go.jp URL: http://jsmnid5.jp/
 内容：本学術集会では、「次世代の難病医療ネットワーク」をテーマとして、本領域の研究や診療の進歩を学び、さらなる発展をめざして討論を行います。
 特別講演1：「難病医療（仮）」（南風病院 福永秀敏先生） 特別講演2：「在宅医療（仮）」（聖霊クリストファー大学 川村佐和子先生）
 教育講演：「筋ジストロフィー」
 シンポジウム1：「緩和ケア」 シンポジウム2：「在宅・災害」 シンポジウム3：「摂食・嚥下」 シンポジウム4：「神経領域以外の難病医療」

第45回日本伝統鍼灸学会学術大会

開催日：平成29年10月14日（土）～15日（日） 場所：金沢市 石川県立音楽堂 会頭：小川恵子
 内容：特別講演、基調講演、教育講演、実技講演、シンポジウム、対談、セミナー、一般口演、等
 大会テーマを「日本伝統鍼灸の確立に向けて ～伝統から未来へ～」とし、日本伝統鍼灸の今と未来をさまざまな角度から学ぶ大会となるよう、多岐にわたる講演と、海外の先生方をはじめ日本伝統鍼灸の神髄と言える各流派の先生方による実技講演をお願いし、双方を学べる機会を設けることにしました。
 本学術大会で、日本伝統鍼灸の全体像を議論しあひ学びあうことを通じて、世界の医療の中での日本伝統鍼灸のあるべき姿を見出すことができ、貢献できるよう期待しております。
 連絡先：金沢大学附属病院漢方医学科 小川恵子 TEL 076-265-2918 FAX 076-234-4349 E-mail okeiko@med.kanazawa-u.ac.jp
<http://jtams.com/45-kanazawa/>

The genesis of the antibody revolution in therapeutics: anti-TNF therapy suggests how we can cure rheumatoid arthritis

抗TNF- α 抗体に代表される生物製剤は、関節リウマチ治療にパラダイムシフトを起こすとともに、クローン病を始めとする多くの炎症性疾患の治療薬として使われるに至っています。抗TNF- α 抗体の開発者であり、その臨床応用にも多大な貢献をされたことから、Laskar賞を受賞されるとともに、英国政府からはSirの称号を与えられるなど、国際的にも著名なMarc Feldmann博士が、本学出身の松島綱治東大教授が金沢で主催される第5回国際サイトカイン・インターフェロン学会への参加のために、この秋に金沢に来訪されます。Feldmann博士と長年にわたりご親交の深い松島教授のご厚誼により、抗TNF- α 抗体治療法の開発の歴史について、過去30年近くにもわたるFeldmann博士ご自身の経験を踏まえて、学部生を含めた若い医学徒を主な対象として、特別講義をして頂ける事になりました。万障お繰り合わせの上、多くの皆様にご参加いただければ幸いです。
 開催日時：平成29年11月2日 15:00～16:30 開催場所：金沢大学十全講堂
 連絡先：金沢大学がん進展研究所 分子生体応答(向田) TEL: 076-262-2108 Fax: 076-234-4520 E-mail: mukaida@staff.kanazawa-u.ac.jp

第4回北陸エピジェネティクス研究会

北陸エピジェネティクス研究会では、年に1回、北陸3県のみならず近隣の県より参加者を集い、転写制御やノンコーディングRNAといった分野も含めた広義な意味でのエピジェネティクスを主題とした研究会を開催しております。

日時：平成29年11月13日（月）～14日（火）

場所：金沢大学宝町キャンパス 医学記念館

世話人：堀家 慎一（金沢大学）、沖 昌也（福井大学）、甲斐田 大輔（富山大学）

特別講演 程 久美子 先生（東京大学） 村本 哲也（東邦大学） 程 肇（金沢大学）

演題募集 発表の申込の受付（受付期間：～9月30日（土））

演題受付・お問い合わせ先：学際科学実験センター 堀家 慎一

TEL:076-265-2775

E-mail: sihorike@staff.kanazawa-u.ac.jp

幹細胞生物学セミナー

日時：2017年11月15日（水） 17:00-18:30

場所：医学図書館 十全記念スタジオ

演者：奥田晶彦 先生（埼玉医科大学 ゲノム医学研究センター 所長）

セミナー名：幹細胞生物学セミナー

連絡先：再生分子医学 赤木紀之 <tadayuki@staff.kanazawa-u.ac.jp>

第110回日本消化器内視鏡学会北陸支部例会

開催日：2017年11月19日（日） 9時～17時（予定） 場所：石川県地場産業振興センター新館

開催概要（案） 特別講演：消化器内視鏡学研究と診療の展望（日本消化器内視鏡学会理事長）

教育講演：消化器内視鏡診療にかかわる医療事故の現状

パネルディスカッション：消化管表在がんの浸潤と転移－内視鏡診断と治療の現状－

ランチョンセミナー：消化管がん内視鏡検診の現状

一般演題、初期・後期研修医発表

支部例会事務局 〒920-0934 金沢市宝町13-1 金沢大学がん進展制御研究所腫瘍制御

支部例会長 源 利成 事務局担当 中西宏佳、浅香（事務）

☎ 076-265-2798

Fax 076-234-4529

E-mail: jsge-hokuriku110@med.kanazawa-u.ac.jp

第4回金沢大学 子どものこころサミット

開催日：平成29年11月30日（木）～12月2日（土）

開催場所：金沢大学十全講堂ホール 他

問合せ先：金沢大学子どものこころの発達研究センター childdev@med.kanazawa-u.ac.jp

子どもの発達障がいに関わる幅広い領域の専門家が集い、研究成果を発表すると共に、一般の方々に子どもの発達障がいとその研究への理解を深めて頂く。従来の活動報告に加えて、文部科学省委託事業「子どもみんなプロジェクト」の報告会を兼ねたシンポジウムを新たに企画し、研究者および地域教育関係者の間の連携を蜜にし、いじめ、暴力、不登校など、深刻化する子どもの問題について討論する。もう一つの新たな試みとして、自閉スペクトラム症児へのロボットを用いた療育実用化の動向を紹介するシンポジウムも企画している。

※詳細に関しては、Webで「第4回金沢大学 子どものこころサミット」と検索して下さい。